

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	堺女子短期大学
設置者名	学校法人愛泉学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	美容生活文化学科 美容文化コース	夜・通信	0	2	37	39	7	
	美容生活文化学科 ビューティーマイクコース	夜・通信			14	16		
	美容生活文化学科 舞台芸術コース	夜・通信			7	9		
	美容生活文化学科 保育士コース	夜・通信			8	10		
	美容生活文化学科 教養コース	夜・通信			7	9		
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="http://www.sakaijoshi.ac.jp/documents/zithumukeikennjyugyoukamokuichirann.pdf">http://www.sakaijoshi.ac.jp/documents/zithumukeikennjyugyoukamokuichirann.pdf</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	堺女子短期大学
設置者名	学校法人愛泉学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.sakaijoshi.ac.jp/documents/yakuinmeibo.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	歯科医師	R1. 10. 24～ R3. 10. 20	組織運営体制への チェック機能
非常勤	無職	H29. 10. 20～ R3. 10. 20	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	堺女子短期大学
設置者名	学校法人愛泉学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p><b>【シラバスの作成過程】</b></p> <p>あらかじめ「シラバス作成要領」と USB を科目担当教員に渡し、担当教員は「要領」に従って作成し、学科主任に提出する。学科主任が中身を点検して正しく書かれているかどうかを確認している。</p> <p><b>【シラバスの作成・公表時期】</b></p> <p>シラバスは (1) 授業の到達目標 (2) 授業の概要 (3) 準備学習とそれに必要な時間 (4) 授業の進行計画 (5) 課題に対するフィードバック (6) 成績評価の方法と基準 (7) 教科書・参考書・教材費の項目を必ず記入して作成する。そして4月のオリエンテーションまでにホームページに公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://www.sakai.ac.jp/assets/cmn_pdf/syllabus.pdf">https://www.sakai.ac.jp/assets/cmn_pdf/syllabus.pdf</a>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>時数の 2/3 以上の出席を前提として、試験やレポート、制作などで評価する。成績評価の基準は、シラバスの成績評価の方法と基準に基づき、厳格かつ適正に実施され単位を授与している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>秀(100~90点)がGP(グレートポイント)4、優(89~80点)がGP3、良(79~70点)がGP2、可(69~60点)がGP1、不可(59点~)及び欠席・資格なし等がGP0として換算し、これに履修対象科目の単位数をかけた数の総計を当該学期で履修登録したGPA対象科目の単位数で割ったものがGPAである。</p> <p>この算出方法は、「学習生活の手引き」に記載されており、ホームページ上に公表している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p><a href="https://www.sakai.ac.jp/assets/cmn_pdf/tebiki.pdf">https://www.sakai.ac.jp/assets/cmn_pdf/tebiki.pdf</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p><b>【美容文化コース】</b> 美容に関する知識と技術を習得し、美容師国家試験受験資格を取得した者。センス・マナーにおいても、美容各分野の幅広いフィールドで活躍できるオールマイティーな人材となること。</p> <p><b>【ビューティーメイクコース】</b> メイク・ネイルなどの専門的な知識と知識を取得した者。センス・マナーにおいても、美容各分野の幅広いフィールドで活躍できるオールマイティーな人材となること。</p> <p><b>【舞台芸術コース】</b> 舞台芸術に関する専門的な知識と技術を学び、自己表現力を高めることのできた者。表現者として、「自分」という個性をセルフプロデュースできる人材になること。</p> <p><b>【保育士コース】</b> 子どもの発達や福祉に関する知識を深め、保育士資格を取得した者。子ども一人一人の育ちを大切にする、保護者相談支援のツールとして芸術的・美的センス、倫理観を備えた保育士・社会人となること。</p> <p><b>【教養コース】</b> 外国語(英会話・韓国語)・心理学・情報技術(パソコン)の知識を柱に、歴史・文学・美術に教養を持ち、現代社会のさまざまな問題にも関心をもつ、21世紀にふさわしい国際的な社会人となること。</p> <p>各コースの定めるディプロマポリシーの水準に達し、卒業に必要な単位数を修得することが必要である。卒業判定は、教務委員会で話し合い、教授会で検討の結果、認定される。</p> <p>各コースの卒業に必要な単位数は「学生生活の手引き」に記載されており、ホームページ上に公表している。また、ディプロマポリシーもホームページ上に公表している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p><a href="https://www.sakai.ac.jp/assets/cmn_pdf/tebiki.pdf">https://www.sakai.ac.jp/assets/cmn_pdf/tebiki.pdf</a> <a href="http://www.sakaijoshi.ac.jp/documents/adimissyonn.pdf">http://www.sakaijoshi.ac.jp/documents/adimissyonn.pdf</a></p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	堺女子短期大学
設置者名	学校法人愛泉学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://www.sakaijoshi.ac.jp/documents/taishakutaishouhyou.pdf">http://www.sakaijoshi.ac.jp/documents/taishakutaishouhyou.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://www.sakaijoshi.ac.jp/documents/shikinshuushikeisansho.pdf">http://www.sakaijoshi.ac.jp/documents/shikinshuushikeisansho.pdf</a>
財産目録	<a href="http://www.sakaijoshi.ac.jp/documents/zaisanmokuroku.pdf">http://www.sakaijoshi.ac.jp/documents/zaisanmokuroku.pdf</a>
事業報告書	<a href="http://www.sakaijoshi.ac.jp/documents/jigyouhoukokusho.pdf">http://www.sakaijoshi.ac.jp/documents/jigyouhoukokusho.pdf</a>
監事による監査報告(書)	<a href="http://www.sakaijoshi.ac.jp/documents/kanjikansahoukokusho.pdf">http://www.sakaijoshi.ac.jp/documents/kanjikansahoukokusho.pdf</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	
中長期計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <a href="https://www.sakai.ac.jp/assets/cmn_pdf/inspection.pdf">https://www.sakai.ac.jp/assets/cmn_pdf/inspection.pdf</a>
---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:
-------

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 美容生活文化学科
<p>教育研究上の目的 (公表方法：<a href="http://www.sakaijoshi.ac.jp/documents/adimissyonn.pdf">http://www.sakaijoshi.ac.jp/documents/adimissyonn.pdf</a>)</p>
<p>(概要) 「愛と真実の教育・情操豊かな女子教育」という建学の精神、「教養豊かな自立的人間の育成」という教育理念に基づき、具体的な教育目標として、「美と健康・福祉に貢献できる人材の養成」を掲げている。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：<a href="http://www.sakaijoshi.ac.jp/documents/adimissyonn.pdf">http://www.sakaijoshi.ac.jp/documents/adimissyonn.pdf</a>)</p>
<p>(概要)  <b>【美容文化コース】</b>                      美容に関する知識と技術を習得し、美容師国家試験受験資格を取得した者。センス・マナーにおいても、美容各分野の幅広いフィールドで活躍できるオールマイティーな人材となること。  <b>【ビューティーマイクコース】</b>                      メイク・ネイルなどの専門的な技術と知識を取得した者。センス・マナーにおいても、美容各分野の幅広いフィールドで活躍できるオールマイティーな人材となること。  <b>【舞台芸術コース】</b>                      舞台芸術に関する専門的な知識と技術を学び、自己表現力を高めることのできた者。表現者として、「自分」という個性をセルフプロデュースできる人材になること。  <b>【保育士コース】</b>                      子どもの発達や福祉に関する知識を深め、保育士資格を取得した者。子ども一人一人の育ちを大切にする、保護者相談支援のツールとして芸術的・美的センス、倫理観を備えた保育士・社会人となること。  <b>【教養コース】</b>                      外国語(英会話・韓国語)・心理学・情報技術(パソコン)の知識を柱に、歴史・文学・美術に教養を持ち、現代社会のさまざまな問題にも関心をもつ、21世紀にふさわしい国際的な社会人となること。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：<a href="http://www.sakaijoshi.ac.jp/documents/adimissyonn.pdf">http://www.sakaijoshi.ac.jp/documents/adimissyonn.pdf</a>)</p>
<p>(概要)  <b>【美容文化コース】</b>                      美容師国家試験の合格に向けて、複数の教員で各教科を担当し、学習・技術両面において少人数制のきめ細かい指導を徹底する。教員同士が緊密に連携をとり、学生の実情を共有して把握する。技術及び学力のレベルチェックのためのテストを定期に実施し、特に国家試験直前には模擬試験を集中して行う。  <b>【ビューティーマイクコース】</b>                      ビューティースペシャリストに求められる知識と技術を習得し、応用力・即戦力を養えるよう、現場で活躍する講師によるフレキシブルな教育を実施する。常に資格取得等の目標を持ち、それを達成していくことにより、スキルアップを図ると同時に、精神力を養う。ひとりひとりの特性を捉え、すべての学生が基準値に達するよう、教育内容を再構築する。</p>

<p><b>【舞台芸術コース】</b> ダンス・ポピュラーミュージック・声優・演技・音響・照明などを、最新の設備の整った環境のもと、現場で活躍するプロフェッショナルの講師が本格的なレッスンを展開する。学んだ成果を発表する場として、各種学内イベントを提供することはもちろん、個人の志す分野の各種のオーディションや、舞台、音楽活動を支援する。</p> <p><b>【保育士コース】</b> 2年間の目標を「子ども・保育との出会い」「子ども・保育を知る」「子ども、保育、地域にかかわる」「保育者のたまごになる」と定め、体系的なカリキュラムを構築する。多様なニーズを抱える子育ての現場へ対応できる人材を育成すべく、実習の事前・事後指導に力を入れ、コース担当教員が全員で指導にあたる。実習および出前保育等の経験を多く持つことで目標達成を目指していく。</p> <p><b>【教養コース】</b> 心理学・外国語・情報など、多様なジャンルの教養を得るとともに、就職にも役立つ各種の資格の取得をめざし、国際的な活躍のできる女性を育成していく。とりわけキャリアデザイン演習などでは、少人数のよさを生かし、一人一人の個性を引き伸ばす教育を展開し、学生生活と将来の自分について考えを深める機会とする。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：<a href="http://www.sakaijoshi.ac.jp/documents/adimissyonn.pdf">http://www.sakaijoshi.ac.jp/documents/adimissyonn.pdf</a>)</p>
<p>(概要) &lt;美容生活文化学科&gt; 何事にも挑戦する気持ちを持ち、夢を語る人。 将来の目標を見つけ、社会に貢献したいと考えている人。 生活における美に関心を持っている人。</p> <p><b>【美容文化コース】</b> 美容に強い関心を持ち、忍耐強く情熱を持てる人。</p> <p><b>【ビューティーメイクコース】</b> メイク・ネイル・ブライダルに強い関心を持ち、情熱を持って取り組める人。</p> <p><b>【舞台芸術コース】</b> 身体を使って表現することが好きで、自己表現力のある人。</p> <p><b>【保育士コース】</b> 相手の気持ちを思いやることができ、子どもの成長や発達を支えたいと願う人。</p> <p><b>【教養コース】</b> 幅広い教養を身につけ、国際人として広く社会に貢献したいと考えている人。</p>

## ②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<http://www.sakaijoshi.ac.jp/documents/kihonsoshikizu.pdf>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
美容生活文化	—	4人	2人	1人	7人	0人	14人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員			計	
0人			31人			31人	
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： <a href="http://www.sakaijoshi.ac.jp/documents/kyouinsoshiki.pdf">http://www.sakaijoshi.ac.jp/documents/kyouinsoshiki.pdf</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
	150人	112人	74.7%	300人	291人	97%	人	人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	150人	112人	74.7%	300人	291人	97%	人	人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
	121人 (100%)	4人 ( 3.3%)	75人 ( 62%)	42人 ( 34.7%)
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
合計	121人 (100%)	4人 ( 3.3%)	75人 ( 62%)	42人 ( 34.7%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				



c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
合計	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>シラバスは (1) 授業の到達目標 (2) 授業の概要 (3) 準備学習とそれに必要な時間 (4) 授業の進行計画 (5) 課題に対するフィードバック (6) 成績評価の方法と基準 (7) 教科書・参考書・教材費の項目を必ず記入して作成する。そして4月のオリエンテーションまでにホームページに公表する。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p><b>【美容文化コース】</b> 美容に関する知識と技術を習得し、美容師国家試験受験資格を取得した者。センス・マナーにおいても、美容各分野の幅広いフィールドで活躍できるオールマイティーな人材となること。</p> <p><b>【ビューティーメイクコース】</b> メイク・ネイルなどの専門的な技術と知識を取得した者。センス・マナーにおいても、美容各分野の幅広いフィールドで活躍できるオールマイティーな人材となること。</p> <p><b>【舞台芸術コース】</b> 舞台芸術に関する専門的な知識と技術を学び、自己表現力を高めることのできた者。表現者として、「自分」という個性をセルフプロデュースできる人材になること。</p> <p><b>【保育士コース】</b> 子どもの発達や福祉に関する知識を深め、保育士資格を取得した者。子ども一人一人の育ちを大切に、保護者相談支援のツールとして芸術的・美的センス、倫理観を備えた保育士・社会人となること。</p> <p><b>【教養コース】</b> 外国語（英会話・韓国語）・心理学・情報技術（パソコン）の知識を柱に、歴史・文学・美術に教養を持ち、現代社会のさまざまな問題にも関心をもつ、21世紀にふさわしい国際的な社会人となること。 各コースの定めるディプロマポリシーの水準に達し、各コースの卒業に必要な単位数を修得することが必要である。卒業判定は、教務委員会で話し合い、教授会で検討の結果、認定される。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	美容生活文化学科	67 単位	有・無	単位

	美容文化コース			
	美容生活文化学科 ビューティメイクコース	62 単位	有・無	単位
	美容生活文化学科 舞台芸術コース	62 単位	有・無	単位
	美容生活文化学科 保育士コース	74 単位	有・無	単位
	美容生活文化学科 教養コース	62 単位	有・無	単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 （任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<http://www.sakaijoshi.ac.jp/documents/bbb.pdf>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	美容生活 文化	700,000 円	300,000 円	648,000 円	
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 「クラス」制による学生グループを基本単位とした担任制を設けている。学生の退学を防止するため、昼食の既食数カウントから登校していない学生を週ごとに職員がチェックし、担任は、それと出席表を合わせ見て欠席の多い学生のカルテを作成し、段階をふんで個別に指導する。また、すべての学生に対して教員がオフィスアワーの時間を設けて、学修から学生生活の悩みなど各種の相談に応じ、修学支援をすすめている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 進路全般に関しては「キャリア支援センター」が業務を担当している。本学のキャリア支援にまつわる講義を担当している講師が、キャリア支援センターのスタッフを兼務していることもあり、学生の顔と名前をしっかりと把握している。これによりパーソナルな対応が可能となるため、キャリア支援センターを利用する学生が非常に多い。また、各コースの担任教員も協力し、キャリア支援センターのスタッフと連携を強化している。 <キャリア支援センター> 本学に届く求人票はすべて事務センター内就職コーナーの棚にファイルに綴じて保管している。学生は、いつでも自由に閲覧ができるようになっている。個別相談にも対応している。また、コース各担任・同センタースタッフが連携協力し面接練習等の指導、支援を行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 本学では、各コースの担任教員と事務組織の学務部学生課スタッフが連携協力し、学生の心身の健康等の管理・相談に取り組んでいる。 <健康相談室> 健康相談室では担当者が学生の対応にあたり、健康の管理に配慮している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : <a href="http://www.sakaijoshi.ac.jp/documents/kyouinsoshiki.pdf">http://www.sakaijoshi.ac.jp/documents/kyouinsoshiki.pdf</a> 堺女子短期大学紀要を年1回発表し、国会図書館及び主要な大学図書館に寄贈している。
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F227310108516
学校名	堺女子短期大学
設置者名	学校法人愛泉学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		93人	80人	95人
内 訳	第Ⅰ区分	66人	66人	
	第Ⅱ区分	13人	14人	
	第Ⅲ区分	14人	-	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				95人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)		0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	0人
計		0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間		前半期	0人 後半期 0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		0人	-
G P A等が下位4分の1		0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		0人	0人
計		0人	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。